地域とのコミュニケーション情報発信紙

敬老園便り

敬老園本部／〒386-0027 長野県上田市常磐城2256-1 2F　TEL.0268-28-1170（代）

第16号
平成29年
4月1日発行

児童福祉法改正「家庭的養護推進」
現行の措置制度のままでは
乳児院の運営・存続が困難に
うえだみなみ乳児院パイロット事業に活路

虐待・環境・傷病などにより家庭で生活ができない乳幼児などを擁護する乳児院（児童養護福祉施設）は、県内に4ヶ所（定員57名）あります。

その1つ、上田市駅南口で「うえだみなみ乳児院」（定員9名）を敬老園が運営をしています。上田市から経営移譲されて7年目。昨年6月の児童福祉法改正で「家庭的養護推進計画」が示され、乳児院や児童養護施設での養護から家庭での養育へ移行する方針が打ち出されました。

乳児院の養護を極力減らして、平成41年度末までに2割削減する計画で児童養護全体での施設養護は1/3に減らす計画となっています。施設で養護するのではなくグループホーム（分園型小規模グループケア・地域小規模児童養護施設）、里親・ファミリーホームで養育をしていくとしているが、措置費を現行のままにしての「家庭的養護」には問題があります。

現行の措置制度は、施設定員に対し職員配置が義務付けられており、「子どもの数を一定数確保しないと経営・運営ができない仕組み」となっています。児童相談所の入所制限し、現在、県内の乳児院は定員の7割以下の運営で現行のままでは乳児院が消滅してしまいます。うえだみなみ乳児院は5名となっています。手が足りない児童相談所（担当者1人あたり100人担当）では、増え続ける件数、里親・ショートステイ教育等がほとんどなされない中、担当職員も頭を抱えていると言います。

そこで平成29年度から「うえだみなみ乳児院」では「コミュニティーを基盤としたパイロットプロジェクト」を立ち上げました。日本で初めての試みとして厚生労働省も注目し、日本財団が資金的な援助を約束し、バックアップしてもらう事業で長野大学准教授 上鹿渡和宏氏（児童精神科医）を中心に実践します。

4月から「家庭養育移行推進チーム」（新機能）を設置し、里親リクルーター、里親支援専門相談員、家庭支援専門相談員を常勤配置し、社会的養護施設における先駆的な取り組みを行います。

理事長 **斎藤 俊明**



認定こども園キッズ・うえだみなみ
介護付有料老人ホームうえだみなみ敬老園併設
うえだみなみ乳児院（上田市常田1-4-12）

敬老園の理念

少子高齢化の進展に伴う様々な問題に、地域に根ざした社会福祉法人として三つの理念を掲げ、役職員が一丸となり社会貢献を致します。

- 敬老園は人間の尊厳を大切にし、柔軟な心をもってあらゆる可能性のある質の良い介護を目指します。
- 敬老園は公平公正な施設運営を旨とし、変化する時代を的確にとらえ社会に貢献する健全な経営を目指します。
- 敬老園は心と心の結びつきを基本とし、取り巻く全ての関係を誠意と熱意をもって構築することを目指します。

敬老園が安心して自宅で生

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

地域密着型サービス 上田市西部・中央・城下地域で事業展開

【サービスの内容】

敬老園が行う、定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、日常生活を続けることができるよう、訪問看護ステーションと連携し、ご利用者の皆さんの生活スタイルや適切なアセスメントに基づいて日中・夜間を通じて、“定期的な訪問”や“緊急時等の随時の訪問”、“24時間の相談や連絡を受付ける随時対応サービス”を組み合わせながら、生活を営む上で必要となるサービスを提供する事業です。





【サービス利用について】

要介護度1～要介護度5と
認定された方が対象です。

サービスを利用していても
デイサービス、ショートステイ、
訪問看護が利用できます。

定期巡回（介護のみ）	要介護1	5,658円
	要介護2	10,100円
	要介護3	16,769円
	要介護4	21,212円
	要介護5	25,654円

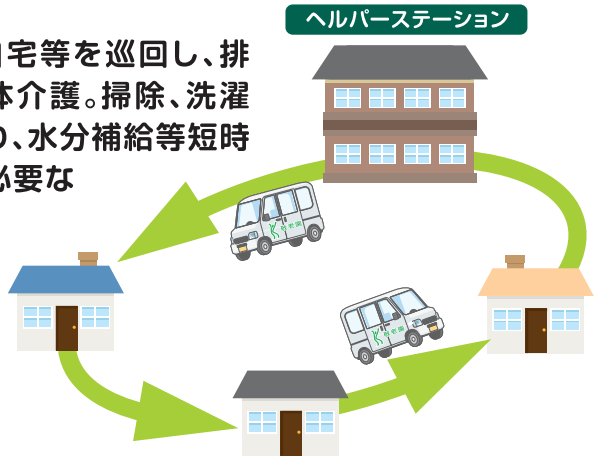
※定期巡回・随時対応型訪問介護看護をご利用された時の自己負担額になります。※利用回数が増えても月々一定の負担でサービスの利用ができます。

活できるよう支援をします!

1 定期巡回サービス

1日複数回、定期的に自宅等を巡回し、排せつ、食事の介助等身体介護。掃除、洗濯等生活援助。また、見守り、水分補給等短時間の援助等日常生活に必要なサービスを行います。





2 随時対応サービス

利用者または家族からの随時の連絡や相談、緊急通報の受付、通報内容を基に相談援助を行います。訪問介護員の訪問に対応の要否を判断するサービスです。(24時間オペレーターが対応し、訪問の必要性について判断します。)



3 随時訪問サービス

訪問の要否等の判断に基づき、訪問介護員等がご利用者の居宅を随時訪問し、日常生活上で必要なサービスを提供します。





◎サービスについてのお問合せ

うえだ敬老園ヘルパーステーション(法人本部内2階)
上田市常磐城2256-1
☎0268-28-1187 【担当者】吉田・山邊

入浴

激動の日本を支えてきた皆さまのお背中を流させてください!! 敬老園のデイサービスは温泉活用しております。身体と心も、リフレッシュしてください(^-^)





相談

常時生活相談員が出勤しており、どの様な悩み、ご相談もお受けいたします。お一人で解決できない事も多々あるかと思いますが、関係機関や、近隣住民との連携を図り、解決へ導いていきたいと考えます。



イベント

デイサービスでは、各地区各事業所にて、さまざまなイベントを実施しております。皆さま方の参加型イベントや季節に合わせた外出イベント。時には、皆さまがアッと驚く、職員の寸劇などをしております。大笑いして下さる方や三ツ星評価をして下さる方もいます!! 是非ご覧になって頂きたいです。

作品展

敬老園デイサービスでは、皆さま方が制作されたさまざまな作品を、展示会として発表する作品展を実施しております。昔から行ってきた趣味や特技を、是非、他の皆さまにもご披露ください!!



敬老園
デイ
サービス

これからも貴方が主役です





訓練



敬老園の訓練は個別に合ったメニューを、訓練指導専門員が個々に関わっています。訓練スケジュールを一緒に考え、目標に取り組み、達成に向かっていきましょう!!

地域交流



敬老園は地域との交流を大切にして来ました。おかげさまで、これまでも多くの交流を実施しています。ダンスや歌、絵手紙等のボランティア様のお力もあり、楽しく、学べる事が大きな財産です。近隣小学校や幼稚園のお子さま方が来園し、劇や歌等を披露してくれています。ご利用の皆さま方も嬉しい表情になりますね(^◯^)

アクティビティ

さまざまな日々を送られている皆さま。デイサービスでは、皆さまが笑顔でお過ごしいただけるよう、あらゆる観点から楽しみを提供します。体を動かすマレットゴルフ、手芸や作品作り、カラオケなど…。ゆっくりお仲間とお話をされるのも楽しいですね。





一所で一緒

チーム敬老園

今回は、介護未経験で敬老園に就職。仕事を続けることで不安がやりがいとなって「この仕事で良かった」と感謝をしている職員を紹介いたします。

No.2

上田西地区統括施設長
養護老人ホーム報恩寮　施設長
池内　栄さん

介護の仕事をするうえで大切にしていることは?

介護に関する資格もなく、年齢を重ねた中で介護の世界に飛び込みました。他の仲間とスタートラインが違う事に不安を抱えていましたが、ご利用者や一緒に働く仲間と「気持ちを合わせていく。心と心で向き合うこと。」を大切にしてきました。今も一緒です。その気持ちと仲間が私を支えてくれて、今があります。



また、私の母が実家の近くの特別養護老人ホームでお世話になっています。痩せこけた頬や変形した手や足、酸素して反応もない状況ですがきれいなパジャマで横たわっている姿を見るたび施設の皆様に感謝し「私も尽くします」と心の中で母に誓います。

入職時と今で変わったことは?

(パートから正規、栄養士からケアマネと雇用形態や職種の変更がありましたが、その際に大変だったことやそれをどうやって克服してきたかを教えてください。)

働きながら管理栄養士と介護支援専門員の資格を取得しました。資格の取得がターニングポイントになっています。「できるところまでやってみよう、ダメならそこで考えよう」と楽観していました。ケアマネの時は介護技術のバイブルはヘルパーさんたちでしたので、いつも頼りにしていました。1人でご自宅に向かうヘルパーさんたちは工夫と知恵がいっぱいです。チームで支援をすることを実感しています。

私たちは多種多様な職種がそれぞれの役割を果たすことで利用してくださる方に「敬老園があって良かった」と思っていただけるようハツラツと毎日を過ごしています。

お問い合わせ・詳しい内容・応募はこちら

県内各地に、200を超える事業を展開しております。ご利用者年間延約150万人、職員約1200人

社会福祉法人
敬老園

[本部]〒386-0027 上田市常磐城2256-1
E-mail jinji@keiroen.or.jp

■法人本部 人事部人事課【担当／後藤・山口】

0120 FreeDial **0120-70-1651**　8:30～17:30



職員を温かくバックアップ
敬老園OB会!!

昔の仲間が今も集い、楽しく親睦を深める場

敬老園の応援団として、職員を温かくバックアップするOB会を紹介させて頂きます。

平成23年から立ち上げ、上田地区の方を中心に、敬老園施設行事の手伝いや演芸、施設花壇の整備のほか、勉強会や懇親会を行い、会員同士楽しく交流を深めています。参加者には、敬老園開設以来、敬老園を支えて来られた方が大勢います。中には、昭和49年にしうち敬老園（敬老園発祥の地）開設同時から活躍されていた方々もいらっしゃいます。

ボランティア活動や親睦会などは有志で行っていましたが、各々の活動がより楽しくなることを願い、「敬老園に働いていた仲間が集う場づくり」を目的に、今までの活動に加え、会員にとっても役立つ研修など企画し、開催しています。

「勉強会の後の食事会」では、近況報告や現在の敬老園の様子など情報交換を通じて、元同僚の姿を見て思い出話に花を咲かせる方、「ボランティア活動」では、懐かしいご利用者との会話が弾む方、また一度離れた敬老園の良さに気付き、「職場復帰された方」や「職場復帰を目指している方」など様々な皆さんが参加されています。

OB会は、今後も応援団として敬老園を支えるため、今までの経験を活かせる活動に努めて行こうと思っています。今年も、講演会、親睦会を企画していきます。皆様ご参加ください。OBの皆さん、職員の皆様にはご協力をお願いいたします。



研修会



勉強会の後での食事会

【OB会役員】
会　長　岩下　夏実
副会長　中村　純子／青柳　広美
幹　事　堀内　敏子／倉島　岩喜
〃　綱島　瞳



勉強会に参加したOBの皆さん（斎藤理事長を囲んで）



会長　岩下　夏実

事務局

◎まるこ敬老園 …… 永井
◎本部 …… 久保田

楽しく食べる「こども」を目指して！

～認定こども園キッズ・うえだみなみ～

認定こども園キッズうえだみなみでは、こどもたちに「食べることの楽しさと大切さを伝えたい」という願いをもって、愛情を込めて食事をつくっています。食材は冷凍ものを使用せず、食材本来の味を知ってもらうため、国内産の品質の良いものを使用しています。

食事から季節を感じられるように出来る限り旬の食材を取り入れ、地産地消にもこだわり見た目や味だけではなく、食感や香りも楽しんでもらえるよう工夫しています。

調理室は保育室から見える位置にあり、こどもたちは調理室のカウンター越しに食事をつくっている様子をいつでも見ることができます。お昼ごはんの時間が近づくにつれて、白飯の炊き上がっていく匂いやみその匂い、野菜やお肉を炒める香ばしい匂いが保育室いっぱいにひろがります。

こどもたちは興味津々な表情で調理室に近づいてきてくれます。

「先生、これ何の匂い?」「いい匂い、いい匂い、早く食べたい!」調理している私たちのほうが幸せな気持ちにさせられます。「楽しく食べるこども」に成ってほしい。

そのために、季節に合わせた調理体験や食事のマナー学習、食べ物と体の働きの関係についての食育活動などもしています。

これからも食育目標である「楽しく食べるこども」をめざしておいしい料理をつくっていきます。

認定こども園キッズ・うえだみなみ
管理栄養士　滝沢未来



昼食
- ミートボールと野菜のパスタ
- かぶのスープ　●野菜和え
- りんご　●牛乳

おやつ
- 手作りいちごケーキ　●お茶



昼食
- ツナトースト　●ミモザサラダ
- ポトフ　●みかん　●お茶



楽食 がくしょく

安心して楽しくおいしい食事をお届けします！

バリアフリーレストラン楽食

上田市常磐城2256-1　敬老園本部1階

■ご予約・お問い合わせ先

☎0268-28-0141（おいしい）

